

New Sophia Hospital

ニューソフィアホスピタル

福岡歯科大学医科歯科総合病院

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号 TEL092(801)0411

No.39
2025.09



病院の理念

私たちは、地域と社会、臨床と研究、医科と歯科、過去と未来を「つなぐ病院」として、豊かな人間性を備えた有能な医療人を育成し、地域の皆様に信頼され続ける病院をめざします。

病院の基本方針

1. 患者中心の医療
 - ・患者の皆様の人格を尊重した優しさのある医療を提供し、地域の信頼に応えます。
2. 安全・安心な高度医療の提供
 - ・医科歯科総合病院として多職種連が協働し、安全・安心で高度な医療を推進します。
3. 地域医療への貢献
 - ・地域の医療・介護・福祉施設と連携し、地域の皆様の健康維持に努めます。
4. 全人的医療を実践できる医療人の育成
 - ・医療人としての誇りを持ち、患者さんの身になって考えることのできる医療人の育成に努めます。

病院長ご挨拶



福岡歯科大学医科歯科総合病院
病院長 鳥巢 浩幸

連日の猛暑が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。熱中症予防には、こまめな水分・塩分補給と適切な冷房の使用が欠かせません。どうぞ体調に十分ご留意のうえ、健やかにお過ごしください。

さて、長らく当院の南側で進められておりました大規模な建設工事が、このたび無事に完了し、福岡歯科大学の新校舎が今夏7月に竣工いたしました。9月からは新校舎で福岡歯科大学の学生教育が始まるほか、福岡医療短期大学も移転し、歯科衛生士を目指す学生たちの学びもスタートいたします。青と白の組市松模様が印象的な新校舎は病院と連結され、「教育・研究・臨床をつなぐ」という当院のコンセプトを、より一層体現する環境が整いました。

当院は「全人的医療を実践できる医療人の育成」を基本方針の一つに掲げています。福岡歯科大学では、共用



試験を経て合格した5年生が「スチューデントデンティスト」として、本院での1年間の臨床実習を行います。実習では、各診療科をローテーションしながら教員の指導のもと、これまでに学んだ知識・技術・態度を臨床の現場で実践的に学びます。将来を担う歯科医師、歯科衛生士、看護師の育成には、患者の皆さまの温かいご理解とご協力が何よりも大切です。何卒ご支援のほどお願い申し上げます。

福岡学園では、2020年の新病院開院、2022年の50周年記念講堂完成に続き、2025年には新校舎が竣工いたしました。今後は新体育館などの整備が予定されています。福岡歯科大学医科歯科総合病院は、ハード面の整備のみならず、診療・検査体制の整備やデジタル化の推進を通して、時代の変化に即した医療の提供に努めてまいりました。これからも「未来へつなぐ病院」としての使命を果たすべく、一層努力してまいります。

今後とも、福岡歯科大学および医科歯科総合病院に、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「入れ歯とは？ —“美味しく食べる”を支えるパートナー」

補綴科准教授
川口 智弘



入れ歯(義歯)は、歯を失ったあとも「噛んで美味しく食べる」という毎日を支えてくれる大切な歯科治療です。残っている歯の数によって、入れ歯には二つの形式があります。

- 部分入れ歯:残っている歯を利用し、金属製の留め具で固定します。
- 総入れ歯:歯がすべて無くなった場合に歯ぐき全体に合わせて装着します。

入れ歯を装着した患者さんの中には、「痛い」「外れやすい」「噛みにくい」、そんなお悩みをお持ちの方もいらっしゃいますが、最初は調子が良かった入れ歯でも、お口の変化や入れ歯自体の劣化が不調のサインとして現れてくる場合があります。年齢や入れ歯の使用期間によって、歯ぐきの形や噛み合わせは少しずつ変わるため、入れ歯も定期的な調整や作り直しが欠かせません。

たとえば、入れ歯の歯は毎日の食事ですっかり減っていき(図1)、歯ぐきの形も加齢で少しずつ痩せていきます。その結果、わずかな噛み合わせの変化や入れ

歯の隙間が、痛みやガタつきの原因になります。また、食事のたびに入れ歯に噛む力がかかるため、入れ歯に亀裂が入ったり部分入れ歯の金属製の留め具が折れたりすることもあります(図2)。

当院では、検査と設計を行い、お口の状態に合わせた入れ歯を製作しています。さらに、快適に長く使っただけのための定期的な入れ歯の調整も重視しています。

「入れ歯だから」とあきらめず、一緒に美味しい食事を楽しめる毎日を取り戻しましょう。気になることがあれば、どうぞお気軽にご相談ください。



図1



図2

「3Dプリンターで入れ歯をつくれます!!」

歯科技工士
一志 恒太



超高齢社会の日本では70歳以上の約3割が入れ歯を使用していると言われており、入れ歯の需要は高齢化と共に進んでいます。また、この入れ歯は歯科技工士によって製作されています。

入れ歯と言っても種類や目的は様々です。たとえば、部分的に歯を失った場合には部分入れ歯(部分床義歯)、全ての歯を失った場合には総入れ歯(全部床義歯)になります。これらは、歯科医師と歯科技工士などが咀嚼(噛む)・嚥下(飲み込む)・発話(会話)が問題なくできるように製作しています。

入れ歯を使用すると、お口の機能を補助してくれるため「おいしく食べる」や「楽しく話す」ことができQOL(生活の質)向上や全身の健康に繋がります。

入れ歯のつくりかたにはいくつかの方法があります。最近では3Dプリンターを利用して総入れ歯をつくる事が出来るようになりました。3Dプリンターを使用するためにはデジタルデータを利用する必要があります。福岡歯科大学医科歯科総合病院では口腔

内スキャナーやラボスキャナーといった最新のデジタル機器や入れ歯を設計するためのソフトウェアが設備されています。それらの使用により3Dプリンターで層を重ねるように入れ歯をつくる事ができます。

3Dプリンターの入れ歯は、長年使用してきた馴染みのある入れ歯の形をスキャンして、新しい入れ歯づくりの参考にすることができます。また、入れ歯の破折や紛失などにより再度作り直しが必要な場合に、以前設計した入れ歯データを利用することで、同じ形状のものを再度つくる事ができます。もちろん予備として同形状の入れ歯をつくっておくことも可能です。

3Dプリンターの入れ歯にご興味のある方は担当の歯科医師の先生にご相談ください。



顎顔面補綴という治療は腫瘍、外傷、炎症、先天性の形成不全などが原因で生じた口の内外を含めた顔面またはその周囲組織の失われた部分を人工的に製作した装置で修復し、損なわれた機能と形態の回復・改善を図ることをいいます。この治療には医師・歯科医師をはじめ、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、臨床心理士、メディカルソーシャルワーカーなどの多職種が連携を組み、患者さん、患者さんのご家族をサポートしていく治療となります。福岡歯科大学医科歯科総合病院では、2003年4月に補綴(入れ歯)科で顎補綴治療班を発足し22年診療を続けています。その間に220名以上の患者さんの治療を行ってきました。

診療を受けた患者さんの多くが腫瘍の摘出・切除により顎の骨の一部を失う手術を受けているため、写真

①のように口の中に穴が開くようなこともあります。そのため、咀嚼や飲み込みなどの機能に、また会話時の発音機能に障害を生じてしまいます。その機能改善のために使用されるのが顎義歯(がくぎし)(写真②)と呼ばれる特殊な入れ歯です。この入れ歯は、通常の義歯に穴のあいた所をふさぐ蓋となる部分を付属させた義歯となっています。この顎義歯の製作には、通常の義歯の製作よりも複雑かつ困難な過程が多く、当院のような大学病院のような施設ではないと難しいこともあり、地域の多くの歯科医院や歯科のない大きな病院からご紹介を受けた患者さんの受け入れも行っています。

今後も多職種連携を続け、患者さんのQOLの回復と、地域の歯科医療の一翼を担えるよう診療を行ってまいります。

写真①



手術後の上あごの写真

写真②



製作された上あごの顎義歯



顎義歯を口の中に装着した状態

がく ほとつ
「顎補綴の治療に関わる歯科衛生士」

歯科衛生士
杉本 清楓

(日本顎顔面補綴学会認定歯科衛生士)



入れ歯になったら歯磨きは簡単にするだけで良いとおっしゃる患者さんもありますが、作った入れ歯を長く快適に使うために、お口のケアは重要です。特に入れ歯のバネがかかる歯は汚れが溜まりやすいことから、歯周病や虫歯になりやすい状況にあります。また、顎補綴装置などの顎義歯(口腔がんなどの手術後に装着する入れ歯)となると、手術の後遺症などから、より歯磨きなどのお口のケアが難しくなります。そこで歯科衛生士は手術前から手術後、顎義歯の装着、そして退院まで、患者さんへ寄り添い、退院後の歯磨きや顎義歯の取り扱いに困らないようにサポートを行っています。

手術後はお口の中に大きな傷や瘻孔(穴)が出来ており、歯ブラシや顎義歯を入れることの難しさや恐怖心を感じる患者さんも多くいらっしゃいます。顎義歯は通常の入れ歯よりも形が複雑であるため、装着にはコツが必要となることもあります。入院中から積極的に顎補綴治療に関わり、補綴(入れ歯)科や口腔外科の歯科医師と連携を取り、初めて装着する顎義歯に対する

不安を緩和し、顎義歯の取り扱い方や歯磨きの練習を行います。

外来では長期的に顎義歯を使用されている患者さんの定期的なお口のケアにも介入しています。お口の中に鼻腔(鼻の中)と交通するような瘻孔が開いている患者さんには、瘻孔の部分に対するケアなども必要となります。歯の周囲や瘻孔の周囲のケアだけでなく、手術により会話や食べるといったお口の機能低下も生じることから、必要に応じて、お口の機能訓練も行っています。

今後も患者さんの精神的な安定やQOL向上・回復を目指し、顎補綴治療が円滑に進むためのサポートを担っていきたいと思っています。



衛生士による口腔ケア



瘻孔周囲ケア

口からはじまる健康を支える

— 未来の歯科衛生士を育てる福岡医療短期大学の取り組み —

福岡医療短期大学 准教授
黒木 まどか



「歯科衛生士」という職業をご存じですか。

お口の健康は全身の健康を支える大切な基盤です。歯科衛生士は、その維持に貢献する国家資格を持つ医療専門職で、乳幼児から高齢者、入院患者まで幅広い人々と関わり、QOL(生活の質)の向上と健康寿命の延伸に貢献しています。2024年度の求人倍率は23.7倍と非常に高く、男女問わず長く活躍できる魅力ある職業です。

福岡医療短期大学は、3年制の「歯科衛生学科」と、より高度な知識・技術を学ぶ1年制の「専攻科」を備えた、44年の歴史を持つ歯科衛生士養成校です。令和5年度には、厚生労働省の復職支援・離職防止等推進事業の実施団体として、九州・四国で初、全国で5団体目として選定され、「歯科衛生士研修支援センター」を開設し、卒業生等への復職支援やスキルアップ研修を継続的に行っています。

本学では、段階的に実践力を育むカリキュラムのもと、基礎実習や多職種連携教育を通じて、責任感・向上心・コミュニケーション力を養います。2025年8月には福岡歯科大学と共に新校舎へ移転し、学習環境がさらに充実しました。実習室には、モニター付きマネキン95台と歯科診療台40台を備え、細かな技術を丁寧に習得できます。また、学内の医科歯科総

合病院では、最先端の医療に触れる臨床実習を実施し、さらに併設する2つの高齢者施設では、口腔ケアを実践的に学び、超高齢社会に対応できる力を養います。

専攻科では、専門診療科での実習や研究活動を通じて4年制大学卒業と同等の「学士(口腔保健学)」の学位取得が可能です。より高い専門性と広い視野を備えた、リーダーとなる歯科衛生士を目指しています。就職先も、歯科診療所に加え、大学病院や総合病院、企業、行政機関など多岐にわたります。さらに2024年度からは、専攻科生がミャンマーでの医科歯科国際医療支援活動にも参加し、国際的な視点を育む機会となっています。

今後も本学は、社会のニーズに応える実践的な教育を通じ、歯科衛生士のリーダーとして活躍できる人材の育成に努めてまいります。



マネキンを使用した実習
(写真は旧校舎)



短大・新実習室



ミャンマーの小児専門病院で入院患者を対象に歯科保健指導を行う専攻科生

歯科衛生士学生の実習指導で取り組んでいること

歯科衛生士長
手嶋 直美



当院で勤務する歯科衛生士は、歯牙及び口腔疾患の予防処置、診療補助、保健指導業務を行うと共に、日々指導者として福岡医療短期大学3年生及び専攻生の実習指導を行っています。臨床実習は講義と同じ位置づけで、医療職の教育には欠かせない重要な教育方法の一つです。今までの臨床の指導者に対する関わりを見直し、「指導者を育成する」という考えで2年前から6回シリーズで「歯科衛生士実習指導者研修会」のプログラムを企画実施しています。

内容は、教育の基礎・基本となる教育原理、教育心理、教育方法、教育評価を福岡教育大学生田淳一教授より4回に渡り講義を、5回目は短大教員から短期大学の教育課程や実習指導者としての役割、6回目は短大教員と歯科衛生士の相互理解を深めることを目的に、実習や実習指導に対する問題点や困りごとについて意見交換し、解決の糸口を見出すワークショップ形式の研修を行っています。指導者は自分の実習指導を振り返り教育の基本的な考えを理解することで学生に対する意識や行動が変わってきたように思います。

昨年度、指導者は学生が日々使用する「臨床実習帳」について見直しを行いました。学生自ら毎日何を目標として実習に臨めばいいのか自分で考えて行動できること、指導者も誰もが同じように指導できることを目的に、項目ごとに細かく明示した到達目標達成シートを作成しました。今年度から3年生は、このシートを基に到達目標が達成できるように行動し、学生自ら積極的に学ぶ姿勢が各診療科で見受けられるようになり、指導者も各項目に応じて細かく指導を行っています。今後も指導内容を振り、質の高い歯科衛生士の育成に取り組んで参ります。



臨床実習での指導風景



到達目標達成シートを活用した指導風景

福岡県立講倫館高校インターンシップを受けて

理学療法士主任
白川 心一郎



この度、福岡県立講倫館高校のインターンシップの一環として理学療法士の活動の実際と役割についてを担当させていただきました。高校生のグループが4階のリハビリ室に入って来るとまずはその福岡市を一望できる眺めに「わあ、眺めがいい〜」「広〜い。」など声が上がリ、リハビリ室の設備や眺望に驚かれた生徒さんたちも多くおられました。案内するにあたってリハビリ室では高校生たちに様々なリハビリ器具に触れていただいて、体を動かしながらどこに力が入っているのかなど体験していただきました。

また、パンフレットを用いて理学療法士と作業療法士と言語聴覚士のリハビリ3職種の仕事の違いの説明を行



い、それぞれに特徴があることや、実際にリハビリしている患者様の様子を見ていただきました。高校生たちは時折気恥ずかしそうに質問をしてくれたり、グループで仲良く話したりしながらインターンシップを受けている様子でした。後ほど感想文をいただいたのですが、私が福岡DWATとして能登半島地震の震災支援に行った話に興味を持ってくれた生徒さんが多くいたことが嬉しかったです。また、リハビリ室内に模擬のお風呂セットがあったことに驚き、患者さんによっては浴槽をまたぐ練習までするんですねと感想文に書いてくれた生徒さんもおられました。

これから医療従事者を目指していく高校生の眼差しは、初々しくも希望に満ち溢れているように見えました。今回のインターンシップにて理学療法士を始め、作業療法士や言語聴覚士というリハビリ職種に興味を深まり、やりがいや楽しさ、具体的な将来像のイメージに繋がれば良かったなと思います。

放射線室案内

診療放射線技師主任
坂元 英知



福岡歯科大学医科歯科総合病院は、医科と歯科が連携診療を行っている全国でも数少ない施設で、放射線室もその特徴を生かし、医科・歯科両方を兼ねそろえた検査を行っています。

行っている検査は、CT、MRI、といった断層(体の断面)撮影を行う装置をはじめ、胸・腹部等の撮影を行う一般撮影、超音波、マンモグラフィ、肩塩定量等の他、口腔内の詳細な撮影を行う口内法、顎全体の状態等を把握するパノラマ、歯科用CBCT等、全16の検査装置を有し、様々な診断、治療、手技等をサポートする検査を行っています。

勤務する私たち診療放射線技師の役割は、患者さんに安心して検査を受けていただき、その中で診断・鑑別の

ため、より良い画像情報を提供すること、それに加え患者さんの医療被ばく低減に努めることが大事な役割です。

医療被ばくは、患者の病気を見つけるというメリットがあるので、放射線を浴びてはいけない量(線量限度)に制限は設けられてはいませんが、必要以上の放射線は患者さんのデメリットになってしまいます。放射線室では、患者さんの不要な被ばくを避けるため、全国の医療機関と連携作成した指標を基に、被ばくの最適化に向けて検討を重ね、最小限の被ばくでより良い画像を得られるよう日々努力を行っています。

このように放射線室では、患者さんが安心して検査を受けられるような環境を作りつつ、質の高い画像情報の提供と、医療被ばく低減を目指し頑張っています。

また患者さんには、検査の際、検査部位の装飾品・ボタン・湿布等を外したり、絶食を行っていただくことがありますが、検査内容によって異なりますので、ご不明な点やご質問があれば、お気軽にお問い合わせください。



予告『健康まるごと福岡学園』

日時: 令和7年10月25日(土)・26日(日)
10:00~17:30(最終日17:00まで) 北側駐車場

学生主催イベント「**田の歯科祭**」では近隣の子供会等の参加もいただき子どもさんから大人まで楽しめる地域密着型のイベントとなっています。同時に福岡学園内で多彩なイベントが開催されます。



医科ミニ講座 :25日(土) 15:00~16:15、26日(日) 10:30~11:45
歯科無料相談 :26日(日) 10:00~15:00
からだの科学展 :25日(土) 14:00~16:30、26日(日) 10:00~16:00

公開講座 :26日(日) 13:30~14:30
看護のせかい :25日(土) 14:00~16:00、26日(日) 10:00~16:00
地域とつながる口腔ケア :25日(土) 14:00~16:30、26日(日) 10:00~16:00

介護施設見学・介護無料相談 ▶ サンシャインシティ :25日(土) 14:00~16:00、26日(日) 10:00~16:00 ▶ サンシャインプラザ :26日(日) 10:00~16:00

令和7年度 歯科外来初診担当医表

総合歯科・高齢者歯科	月	火	水	木	金	土
午 前	山田	堤	口腔保健	益崎	口腔医療センター	口腔医療センター
午 後	総合ローテーション	1.2 口腔保健 3.4.5 山本	1.2 益崎 3.4.5 山本	吉田	口腔医療センター	/

保存科・歯周病科	月	火	水	木	金	土
午 前	松本(和)・水上	丸尾	大和	松本(和)・水上	当番医	当番医
午 後	吉永	松本(典)	廣瀬	大城	当番医	/

補綴科	月	火	水	木	金	土
午 前	加我	高江洲	前芝	松浦	谷口	当番医
午 後	濱中	宮園	吉田	山口	北條(西村)	/

口腔インプラント科	月	火	水	木	金	土
午 前	加倉・谷口・柳					当番医
午 後						/

口腔外科	月	火	水	木	金	土
午 前	有田	勝俣	勝俣	宮原	有田	当番医
午 後						/

矯正歯科	月	火	水	木	金	土
午 前	阿部・梶原・石井・中嶋・國見・竹崎					当番医
午 後						/

小児歯科	月	火	水	木	金	土
午 前	田口(雅)・一瀬	陶山・田口(理) 服部・姫野	中野・福岡	陶山・山崎 岩橋	田口・新竹	当番医
午 後						/

障害者歯科	月	火	水	木	金	土
午 前	森田・天野・田崎・利光・松尾					当番医
午 後						/

口腔放射線診断科	月	火	水	木	金	土
午 前	筑井	香川	筑井	香川	筑井	当番医
午 後	筑井	香川	筑井	香川	筑井	/

口腔医療センター	月	火	水	木	金	土
午 前	泉・古賀・金子				当番医	当番医
午 後					当番医	/

令和7年度 医科外来担当医表

内科	月	火	水	木	金	土
午前	得能/京極 今林(非常勤)	京極/中川(非常勤)	得能/原(糖尿病) 西崎/松元(呼吸器)	西崎/得能	京極/西崎	1得能 2西崎 3京極 4西崎
午後	西崎	京極	得能/樗木	西崎	京極	

健診センター	月	火	水	木	金	土
午前	竹本/(西崎)	得能	樗木	京極	竹本(非常勤)	無し
午後						

外科・内視鏡センター	月	火	水	木	金	土
午前	園田/泉	(手術日)当番医	中司/泉/非常勤	園田/中司	中司/泉/非常勤	1泉 2中司 3泉 4中司 5泉
午後(一般外科)	園田/泉		中司/泉	園田/中司	中司/泉	
午後(乳腺)			渋田			

心療内科	月	火	水	木	金	土
午前(完全予約制)	田中		金光		金光	当番医
午後(完全予約制)	金光	田中		田中	田中	

耳鼻咽喉科	月	火	水	木	金	土
午前	山野/縫田	縫田/山野	川端(非常勤)/当番医	縫田/川本	川端(非常勤)/川本	当番医
午後	縫田/川本	山野/縫田	川端(非常勤)/当番医	川本/縫田	川端(非常勤)/山野	

※山野Drは外来診療担当日以外でも対応可能なことがあります(研修日を除く。要確認)

形成外科・美容外科	月	火	水	木	金	土
午前・午後(完全予約制)	萩家	萩家	萩家	萩家	萩家	再診のみ

皮膚科	月	火	水	木	金	土
午前	吉田/伊地知	伊地知/古村	吉田/伊地知	伊地知/古村	古村/吉田	古村
午後	吉田/伊地知*	伊地知	吉田/伊地知	手術日	古村/吉田	

*パッチテスト優先

眼科	月	火	水	木	金	土
午前	大島/中村/姫野/平田	大島/中村/姫野/平田	大島/中村/姫野/平田	大島/中村/姫野/平田	大島/中村/姫野/平田	当番医
午後	中村/平田	手術日	姫野/平田	手術日	中村/姫野/平田	

小児科	月	火	水	木	金	土
一般(午前)	奥園	奥園	黒川	黒川	奥園	当番医
予防接種(午後:予約制)				奥園	岡田	
神経・発達(午前午後:予約制)			鳥巣	鳥巣	鳥巣/上野	鳥巣(午前)
腎・夜尿症(午前午後:予約制)	黒川					

整形外科	月	火	水	木	金	土
午前	千々岩/篠原	西尾/篠原	西尾/千々岩	千々岩/篠原	手術日	当番医
午後(予約制)	西尾	篠原	千々岩	篠原		

患者の皆様への権利

- 1 個人の尊厳を尊重され、良質な医療を公平に安心して受ける権利があります。
- 2 病気や診療内容について納得できる十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 3 十分な説明と情報提供を受けた上で治療方法などを自らの意思で選択・決定する権利があります。
- 4 診療における個人情報の秘密が守られ、プライバシーが保護される権利があります。
- 5 ご自身の診療録の開示を求める権利があります。

患者の皆様へのお願い

- 1 良質な医療の提供を受けるためには、ご自身の健康に関する情報を正確に提供いただく必要があります。
- 2 納得のいく医療の提供を受けるためには、医療に関する情報と説明について十分理解できるまでお尋ねください。
- 3 すべての方が等しく適切な医療を受けるために、患者の皆様には他の方や病院職員に支障を与えないようご配慮くださいますようお願いいたします。

春の消防訓練に参加して

今回、消防訓練に参加させていただいて実際の病院の消防設備の場所や使用方法について学ぶことが出来ました。

病院内には、20mごとに設置された消火器や初期消火用の消火栓、75℃で作動するスプリンクラー、通報装置、避難器具、防火シャッターなど、安全を守る設備が整っています。訓練では、垂直式螺旋型の避難器具や自動降下する防火シャッターの仕組みを学びました。火事を見つけた際は周りに火事を知らせること、天井に炎が付いている場合は初期消火は出来ないため避難が優先であることを学びました。

消防訓練を通して、災害はいつ起こるか分からない為周りの非常設備について把握しておく必要があることや患者さんだけではなく自分の命を守るためにも冷静に判断し行動できるようになりたいと感じました。

看護師 菅原 泉・野口 翠



交通のご案内



診療時間	平日: 9:00~18:00	土曜日: 9:00~13:00
受付時間	平日: 8:30~11:30	土曜日: 8:30~11:30
	12:30~17:00	
	※医科の新患および予約外は15:00まで	
予約の変更受付時間	平日: 13:30~16:30	
休診日	日曜日・祝日・年末年始	
面会時間	平日: 13:00~20:00	休日: 10:00~20:00

編集後記

こんにちは。連日、非常に暑い日が続いております。小児歯科では、夏休み中の子どもの来院が増え、大変混み合っております。暑さの中にあっても元気な笑顔で来てくれる子ども達ですが、診察台に横になる体がほてっていて、診察の際、外の暑さを改めて実感しています。

さて、本誌をお読み頂き、ありがとうございます。繋ぐシリーズでは、噛む機能を回復するための補綴処置についてご紹介いたしました。「お口を通して食べる」ことは、全身の健康の維持・増進に大きな影響を与えます。食欲や体調、そしてお口の中に少しでも気になる変化がございましたら、どうぞ遠慮なくご相談下さい。

秋の味覚が楽しめる季節を心待ちにしながら、この暑い夏を乗り切りたいと思います。

サービス・マナー向上委員会 小児歯科教授 岡 暁子